VOL.7 第68号

横浜市テニス協会ニュース

YOKOHAMA TENNIS ASSOCIATION NEWS

発行 横浜市テニス協会 総務部 〒231-0028 横浜市中区翁町1-5-5 関内スクエアービル306号 TEL045-663-0557 FAX045-663-0558

第72回 横浜市民体育大会テニス競技 ダブルス

第72回横浜市民大会ダブルスが平成30年4月1日（日）より横浜市営各コートにてはじまり、5月19日（土）の長坂第2公園テニスコートでの一般男女の決勝戦をもちまして無事終了いたしました。

一般男子は、昨年優勝で第1シードの青山・松本ペアが、初戦敗退する波乱のスタートの中、ノーシードから勝ち上がった長岐・吉澤ペアが、決勝で市瀬兄弟ペアをファイナル12－10の大接戦の末に下し、優勝を果たしました。最後はメンタルの差が出た試合でしたが、どちらに転んでもおかしくない大変すばらしい内容の試合でした。

一般女子は、村田・寺田ペアと内藤・小林ペアのベテラン対決となり、一進一退の攻防の中、一般男子同様ファイナルセットにもつれこむ接戦となりました。最後は、終始落ち着いた試合運びをみせた村田・寺田ペアが粘る内藤・小林ペアを振り切り、優勝しました。

一方、各年令別に目を向けてみますと、全体的に、実力者が持っている力を十二分に発揮し、実績通りの結果を出しました。決勝戦での男子65歳以上・女子50歳以上以外は、スコア上は、圧勝していた試合が多かったのも今年の市民大会のひとつの特徴でした。

最後になりますが、今大会の運営に関しましてご協力いただきましたＪＴＡ審判員、協会理事、運営委員の方々にあらためて御礼申し上げます。

（市民ダブルス競技委員長　中嶋）

〈一般男子の部優勝〉

激戦だった決勝戦

長岐 祐良・吉澤 悠吾組（在勤(ながき鍼灸整骨院)・エバーグリーンTF横浜）

今回は、本戦初日が雨で中止となり、1回戦から決勝まで会場が全て変更になってしまいました。大会運営の関係各位の皆様には、日程や会場の調整等に大変なご尽力をいただいた事に、お礼申し上げます。

大学時代の先輩後輩というペアで臨んだ今大会は非常にタフな試合の連続でした。特に決勝はフルセットに及ぶ大激戦でしたが、自分達の持ち味であるボレーとストロークが上手くかみ合って、なんとか優勝する事ができました。大変うれしい限りです。ヘトヘトになって勝ち得た今回の優勝を糧に、今後も精進していきたいと思います。（吉澤 記）

〈一般男子〉長岐・吉澤、市瀬・市瀬の各選手

〈一般女子の部優勝〉

一戦一戦大事に

村田 珠美・寺田 康子組（Team Coke・エバーグリーンTF横浜）

まず始めに、本大会を運営して下さった横浜市テニス協会関係各位の皆様に感謝申し上げます。

昨年は一回戦負けだったので、今年は一戦一戦大事に戦おうと決めて臨みました。結果が付いて来て本当に嬉しいです。本大会中に所属クラブの閉鎖が決まり、練習場所の確保に四苦八苦しながら迎えた決勝の相手は同じクラブの練習仲間でした。お互いに、力を出し尽くした良い決勝戦だったと思います。

一緒に練習して下さった方々、快く送り出してくれた家族、何より崩れそうなときに気持ちの籠もったプレーでゲームを引っ張ってくれたペアに、とても感謝してます。結果は残りましたが、動きが遅くて反省も残ったので、来年は軽やかに動けるようにして、また挑戦したいと思います。

（寺田 記）

〈一般女子〉村田・寺田、内藤・小林の各選手

〈男子35歳以上の部優勝〉

楽しんだ結果の連覇達成

荒井 崇彰・原口 崇組（在住）

まず始めに、本大会を運営して下さった横浜市テニス協会関係各位の皆様に、お礼申し上げます。また、パートナーの原口さん家族の会場での応援にも大変助けられました。ありがとうございました。

今大会は昨年とは違い、プレッシャーは正直有りましたが、原口さんの力強いプレー、また決定力のあるショットに幾度となく助けられ、私は原口さんに頼りながらも落ち着いてプレーすることが出来、最高の結果となりました。本当に感謝・感激です!!

原口さんと2年連続で出場させて頂き、出場するからには勝ちたいという思いは当然ありましたが、パートナーあってのダブルスでは、楽しくプレーするのも大切なことだと改めて感じた大会となりました。

これからも、「テニスは楽しく!」という気持ちでプレーしていきたいと思います。ありがとうございました。（荒井 記）

〈男子35歳以上〉荒井・原口、河西・比護の各選手

〈男子40歳以上の部優勝〉

3連覇

小山 紀三男・鈴木 譲組（Tプラザ戸塚）

ペアを組んで早7年、今年も2人のコンディションが上がらないまま春の大会が始まった。(毎年のことではあるが(^^))。

毎試合、2人でどうカバーし合うか考えながら進めていった。次第にコンビネーションも良くなっていった。しかし、簡単な試合は1つも無かった。決勝戦はあんな形で終わってしまい、その時は素直に喜べなかったが、今こうして原稿に向かいようやく3連覇した実感を得た。(やった↗↗↗)。

最後にいつも練習に付き合ってくれた仲間達、応援に来てくれた皆様、何よりペアの譲に"感謝、感謝"です。（小山 記）

〈男子40歳以上〉小山・鈴木、濱・小坂の各選手

〈男子45歳以上の部優勝〉

奇跡的勝利と久しぶりの優勝

松島 修・松丸 弘和組（ラック港南台TG）

最近は優勝には縁が無かったのですが、久々の横浜市民優勝で大変嬉しいです。横浜

45歳以上には強敵が多数おり、特に無敗のNo1シードの厚い壁がありましたが、QFで大接戦の末、奇跡的に勝つことができました。

No1シード勝利後もSF・Fと守備的になり精神的にも厳しい戦いが続きましたが、ペアが大事なポイントで僕には打てないアングルボレー等のエースを決めてくれて、助けられました。練習仲間のラックTGアドバンスでの早朝練習やコーチング・ヤジ(笑)等に技術的精神的にも鍛えられ、仲間のおかげで複2回目の優勝ができました。感謝です。「継続は力なり」で出場した甲斐がありました。

優勝はなかなか難しいですが、是非また挑戦し続けて行きたいです。単も2回目の優勝を感謝心で目指して日々精進していきます。最後に素晴らしい大会を運営して下さる横浜テニス協会関係者の方々には深く御礼を申し上げます。感謝・感謝です。　（松丸 記）

〈男子45歳以上〉松島・松丸、笹木・住吉の各選手

〈男子50歳以上の部優勝〉

ペア結成6年目の初優勝

古賀 公貴・宮下 和志組（Tプラザ戸塚）

ペア結成6年にして、やっとこの栄冠に手が届きました。これまでチャレンジし続けてきた45歳以上の部では、あと一歩というところまではたどり着くものの、強豪ぞろいの横浜市民、最後の一歩は多くのライバルに阻まれ続けてきました。

50歳以上に初挑戦となる今回、このチャンスへの思いを胸に各々練習に励んでまいりました。特に、この大会は強風に悩まされることが多いので、練習においても風に負けない心とそれを利用する技を磨いてきました。

温かい心遣いで大会を運営いただいた協会関係者の皆さまと、盛り上げ上手の応援なら右に出るクラブはないであろうテニスプラザ戸塚のメンバーのおかげをもちまして、初めて優勝することが叶いました。本当にありがとうございました。このことに満足することなく、これからも研鑽を重ね、横浜市民に挑戦しつづけます。（古賀 記）

〈男子50歳以上〉古賀・宮下、大門・柏木の各選手

〈男子55歳以上の部優勝〉

長寿スポーツ「テニス」での優勝で仲間を増やしたい

橋爪 宏幸・藤井 良成組（在住(フロンティア)・コナミスポーツクラブ天王町）

始めに、名誉ある大会を永年にわたり開催されて来られた協会、そして日々の運営に携われた関係者に感謝申し上げます。優勝出来たのはやはり声を掛けて下さったペアの橋爪さんのお陰で、試合中でのアドバイスだったり、ポイントホローだったり。また沢山のテニス仲間がいたからです。

数日間強風の中での試合とあり、思うように試合が出来なかった選手が多かったのではないかと、ラッキーもありました（笑）。どこの会場もコートコンディションが良くコートキーパーにも感謝しています。

2年前に豪州の大学で、テニスは長寿に良いスポーツである。と研究調査が発表されました。競技スポーツを長く続けていく事で、テニス仲間が増え、そこから違った仲間が更に増える。これがテニスの楽しみと考えます。来年も優勝出来ますように…、日々練習に励みます。

（藤井 記）

〈男子55歳以上〉橋爪・藤井、飯沼・本間の各選手

〈男子60歳以上の部優勝〉

10年ぶり2度目の優勝

和田 雅夫・田村 正組（サリュートITS・ラック港南台TG）

先ず始めに大会運営に携わって頂いた横浜市テニス協会の方々に御礼申し上げます。市民大会男子ダブルスは今回、10年ぶり2度目の優勝となり大変うれしく思います。パートナーの和田さん、本当にありがとうございました。

準決勝は同じテニスクラブメンバーとの対戦、決勝は今年2度ペアを組んだ相手との対戦となり、やりにくい面もありましたが何とか最高の結果になりました。所属クラブの湘南ハンドレッドTCの皆様はじめ練習相手となって頂いた方々、応援して頂いた方々に改めてお礼申し上げます。そしてもう一度和田さん、ありがとうございました。　（田村 記）

〈男子60歳以上〉和田・田村、細尾・西海の各選手

〈男子65歳以上の部優勝〉

5年ぶりのペアリング、最高の結果に感謝

紀野 政明・福田 文夫組（亀の甲山TC）

久々に組んだペアーで今回も優勝でき大変嬉しく思っております。決勝の相手は互いに知りつくした諏訪・東方ペア。第1セットは何とか奪取したものの第2セットは、相手の好プレー・好ショットに自分たちのペースに持ち込めず逆にセットを奪われてしまいました。

最終セットは落ち着いてじっくり戦おうという了解のもと当初リードを許したものの後半は流れに乗り、勝利をものにすることができました。この優勝は日頃から練習して頂く亀の甲山テニスクラブをはじめとするテニス仲間によること大で本当に感謝しています。

〈男子65歳以上〉紀野・福田、諏訪・東方の各選手

最後に今回も多数の参加者や悪天候によりスケジュール調整が大変な中企画・運営に携わっていただいた横浜市テニス協会関係者の方々にこころから感謝申し上げます。（紀野 記）

〈男子70歳以上の部優勝〉

体のケアーを怠らず、クラス初優勝

鉢蝋 修・成田 繁雄組（和泉テニスクラブ）

70歳になって始めての優勝で、格別な思いです。体の節々をケアーしながら、対戦相手のWO等も有りなんとか勝利を修める事が出来ました。これもひとえにパートナーの的確なアドバイスと我慢だったのかなと思っています。それと、クラブの皆様、家族の応援でこのような嬉しい結果につながったと思います。

最後に大会運営に携わられた横浜市テニス協会の関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。　（成田 記）

〈男子70歳以上〉鉢蝋・成田、板倉・長谷川の各選手

〈男子75歳以上の部優勝〉

パートナーに恵まれ3連覇

有本 誠一郎・木下 正利組（TGレニックス・在住）

今年も長期にわたり大会を開催して下さった横浜テニス協会の関係者の皆様ありがとうございました。パートナーに恵まれ、また運にも助けられて3連覇出来ました。

2年前は久し振りに大会に参加させて頂き、もがきながら優勝させて貰いました。昨年は逆転劇も有り、やはり苦労しましたが、しかしその中で成長も出来、優勝に辿り着けました。

今年は、もう駄目だろうと思っていましたが、昨年、一昨年の経験が自信になり諦めずに優勝出来ました。応援して下さった皆様に、パートナーに、そしてテニスの神様に、感謝　感謝です。ありがとうございました。　（木下 記）

〈男子75歳以上〉有本・木下、鈴木・尾崎の各選手

〈女子40歳以上の部優勝〉

2年ぶり2度目の優勝

東條 宏枝・神田 玲央組（エバーグリーンTF横浜・Team Coke）

まず始めに横浜市テニス協会及び大会の運営に携わって下さった皆様に御礼申し上げます。怪我なく楽しくをモットーに試合に挑みました。優勝という最高の結果が残せて大変嬉しく思っております。

また今回の試合は毎回風が強く苦戦を強いられましたが、その分パートナーと沢山コミュニケーションを取り、パートナーの有り難さ、ダブルスの楽しさを実感した大会でもありました。普段からテニスへの取組に理解してくれる家族、いつもサポートして下さるコーチ、そして一緒に練習して下さる方々のお陰です。本当にありがとうございました。　（東條 記）

〈女子40歳以上〉東條・神田、新井・豆生田の各選手

〈女子45歳以上の部優勝〉

パートナーに恵まれて

梅田 真由美・松尾 あゆみ組（在住・エバーグリーンTF横浜）

今年の横浜市民大会は、待ちに待った45歳デビューだったので、楽しみで仕方ありませんでした。

パートナーの梅田さんとは十数年前に、ベテランになってもずっとダブルスを組んでいけるパートナーを探していた時に出会い、良い時も悪い時も色々な経験をして二人で乗り越えてきました。テニスの事に限らず、子育てや仕事の事など何でも話せるパートナーに巡り合い、楽しく刺激し合いながらプレイできる事がとても幸せに思います。これからもお互い家庭円満に、こっそりと闘志を燃やして一緒に頑張っていけたらと思います。

そして、いつも一緒に練習してくれる友人や、私達を育ててくれたコーチに感謝しています。また、横浜市テニス協会、大会運営の方々に深く御礼申し上げます。来年も是非参加させて頂きたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします！　（松尾 記）

〈女子45歳以上〉梅田・松尾、山川・宇多の各選手

〈女子50歳以上の部優勝〉

エンジョイテニスで願いが叶う!!

藤原 亜佐子・橋本 美恵子組（在住）

勝っても負けてもいつも笑顔で楽しく終われる優しい気の合うパートナーの橋本さんに支えられ、6回目のチャレンジで遂に優勝することが出来ました。私たちにとって決勝の舞台に立つことが最大の関門でした。なぜなら出場6回中4回がベスト4だったからです。

準決勝に上がれた安心感で、いつまでたっても3位の壁を破る事が出来なかった私たちでしたが、今回は準決勝に勝った勢いで決勝まで勝ち切る事が出来ました。たぶん最終日まで残れた嬉しさで決勝戦を一番リラックスして挑めたからだと思います。

最後になりましたが応援に駆けつけてくれた友人、温かく見守ってくれている家族、長期間に渡り運営に携わってくださった横浜テニス協会の関係者の皆様、素敵な思い出が出来ました。本当に有難うございました。　（藤原 記）

〈女子50歳以上〉藤原・橋本、東方・信近の各選手

〈女子55歳以上の部優勝〉

同じペアで挑み続け、初優勝

田原 恵子・上村 久子組（在住・杉田ゴルフ場Tコート）

今まで同じペアで何度かトライして、準優勝やベスト4はあったものの優勝は、今回が初めてだったので、本当に嬉しかったです。苦しい場面は、何度もありましたが、パートナーを信頼して、パートナーに助けられながら頑張りました。

応援して下さった皆さん、そして長きに渡りパートナーとして一緒に試合に出てくれた上村さんには、感謝の気持ちで一杯です。これからも、先ずは楽しく、時には厳しくテニスを続けて行けたらいいなぁと思います。

最後になりましたが、本大会を運営して下さった関係者の皆様には、本当にお世話になりました。ありがとうございました。　（田原 記）

〈女子55歳以上〉田原・上村、大石・福山の各選手

〈女子60歳以上の部優勝〉

助け合い感謝して

柴田 元美・富田 淑子組（YSC）

昨年は55歳、今年は60歳の部で、富田さんと組んで2年連続優勝できました。

昨年は決勝戦なしでの優勝でしたが、今年は足が攣ってしまうほどの接戦を制しての優

［一般男子］

3R: 近藤・笠原（在住・Tカレッジやよい台） 63 / 竹田・富岡（在住） 63
3R: 荒井・高橋（在住） 61 / 長田・佐々木（ウッドテニス・エバーグリーンTF横浜） 61
3R: 長岐・吉澤（在勤（なかさ鍼灸整骨院）・エバーグリーンTF横浜） 62 / 大場・長嶋（GODAI港北） 64
3R: Not Played / 井田・竹中（GODAI港北・東急あざみ野TG） WO
3R: 松本・村上（関東TC） 64 / 森・江藤（GODAI港北・横浜ガーデンTC） 62
3R: 関・小林（在住） 61 / 市瀬・市瀬（ラック港南台TG） 60
3R: 市川・西尾（エバーグリーンTF横浜） 75 / 五嶋・丸茂（在住［磯子区］・横浜グリーンTC［磯子区］） 63
3R: 柄沢・荻野（コナミスポーツクラブ天王町・TAS） 64 / 池田・河村（希望が丘TC・ラック港南台TG） 63

QF: 75 64
QF: 63 64
QF: 75 00RET
QF: 60 67(5) 10-8

SF: 62 75
SF: 63 36 12-10

F: 優勝 長岐・吉澤（在勤（なかさ鍼灸整骨院）・エバーグリーンTF横浜）

［男子35歳以上］

SF: 荒井・原口（在住） 36 64 10-6 / 奥田・阿部（在勤（セサミ大船）） 64
SF: 水野・安西（和泉テニスクラブ） 64 57 10-7 / 河西・比護（ポーチ・とつかTC） 64

F: 優勝 荒井・原口（在住）

［男子40歳以上］

QF: 小山・鈴木（Tプラザ戸塚） 61 60 / 林・小林（在住）
QF: 京瀧・中本（朝練会） 16 64 10-7 / 九里・岩渕（ルネサンス天王寺・とつかTC）
QF: 小林・荻原（在住・在勤） 60 60 / 川口・伊澤（エバーグリーンTF横浜・トップインドアテニスステージ）
QF: 和智・小林（メガロス綱島） WO / 濱・小板（朝練会）

SF: 62 61 / 00 RET
SF: 36 61 10-2

F: 優勝 小山・鈴木（Tプラザ戸塚）

［男子45歳以上］

QF: 勝間・長田（横浜ガーデンTC・ケンウッドTC） 62 64 / 松島・松丸（ラック港南台TG）
QF: 尾崎・岡田（在住・在勤） 63 64 / 岡名・土橋（とつかTC）
QF: 永井・鶴我（下川井TC） 62 62 / 東樹・木下（ルネサンス天王町・ラック港南台TG）
QF: 堺・山本（在住） 63 64 / 笹木・住吉（金沢テニススクール）

SF: 64 62 / 63 62
SF: 26 62 12-10

F: 優勝 松島・松丸（ラック港南台TG）

［男子50歳以上］

QF: 広野・阿辺（夢見会） 64 62 / 古賀・宮下（Tプラザ戸塚）
QF: 持田・依田（ラック港南台TG） 63 64 / 山口・大槻（在住（YWTC））
QF: 伯耆・武石（ラック港南台TG・Tプラザ戸塚） 46 62 10-5 / 丸山・森野（本郷台T同好会）
QF: 佐々木・大槻（アレスマイスター） 64 63 / 大門・柏木（東急あざみ野TG・亀の甲山TC）

SF: 64 64 / 63 63

F: 優勝 古賀・宮下（Tプラザ戸塚）

［男子55歳以上］

QF: 尾形・伊村（Team EX） 80 / 福寿・飯岡（夢見会）
QF: 三上・吉田（Tプラザ戸塚・在住） 84 / 橋爪・藤井（在住（フロンティア）・コナミスポーツクラブ天王町）
QF: 飯沼・本間（Tプラザ戸塚） 84 / 古川・大木（エバーグリーンTF横浜）
QF: 落合・笠松（エバーグリーンTF横浜・Y球会） 83 / 川本・垣原（ラック港南台TG・エバーグリーンTF横浜）

SF: 64 63 / 64 62
SF: 67(4) 63 10-7

F: 優勝 橋爪・藤井（在住（フロンティア）・コナミスポーツクラブ天王町）

［男子60歳以上］

SF: 和田・田村（サリュートITS・ラック港南台TG） 61 61 / 橋・吉武（在住・ラック港南台TG）
SF: 細尾・西海（YSC） 60 61 / 小熊・池田（Tプラザ戸塚）

F: 62 62

F: 優勝 和田・田村（サリュートITS・ラック港南台TG）

［男子65歳以上］

SF: 阿部・松原（在住） 63 62 / 諏訪・東方（エバーグリーンTF横浜・亀の甲山TC）
SF: 新留・中野（在住） 63 64 / 紀野・福田（亀の甲山TC）

F: 62 36 10-6

F: 優勝 紀野・福田（亀の甲山TC）

［男子70歳以上］

SF: 渡会・藤本（ケンウッドTC） 75 64 / 板倉・長谷川（ユニークス本牧）
SF: 井上・石川（とつかTC・横浜ガーデンTC） WO / 鉢蝋・成田（和泉テニスクラブ）

F: 64 63

F: 優勝 鉢蝋・成田（和泉テニスクラブ）

［男子75歳以上］

SF: 有本・木下（TGレニックス・在住） 46 76(5) 10-4 / 馬杉・奥村（TGレニックス・エバーグリーンTF横浜）
SF: 鈴木・尾崎（TGレニックス） 75 64 / 中井・久保田（YSC）

F: 61 64

F: 優勝 有本・木下（TGレニックス在住）

勝で嬉しさもひとしおです。私があまいボールを打っても、富田さんは体をはってスーパーブロックしてくれました。私は,「ありがとう!よし、頑張ろう!」という気持ちになります。

助け合い感謝しながらテニスできたこと、また、いつも一緒に練習し、応援してくださったスポーツマンクラブの仲間の皆さんのおかげで優勝できたと思います。本当にありがとうございます。最後になりましたが、大会を運営して下さった関係者の皆様に御礼申し仕上げます。（柴田 記）

〈女子60歳以上〉柴田・富田、渡辺・田中の各選手

〈女子65歳以上の部優勝〉

いつまでも楽しく！

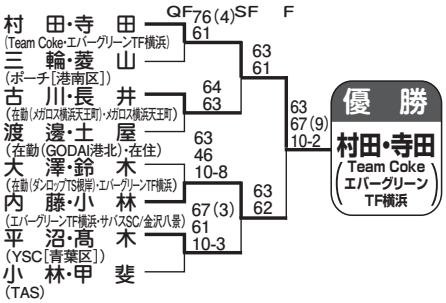
畠山 美知子・木村 多江子組（ユニークス本牧・在住）

初めに本大会を運営して下さった関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。昨年も65歳以上女子の部に申し込みましたが、エントリーが少なく成立しませんでした。今年は65歳以上女子の部が成立し、同じ年齢層の方々と試合が出来て嬉しかったです。

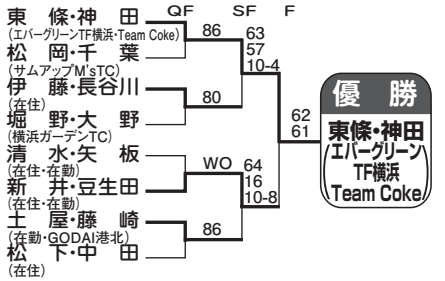
〈女子65歳以上〉畠山・木村の各選手

当日は風が強く、どの試合も年齢別らしい駆け引きの応酬で、ペアと1本1本考えながらの試合でした。でもペアと考えながら試合をすることがダブルスの面白さであり、醍醐味であるとペア共々考えているので、楽しく試合をさせて頂きました。来年からも65歳以上女子の部、70歳以上女子の部のエントリー数が増え、年齢別の部が成立しますように 。（木村 記）

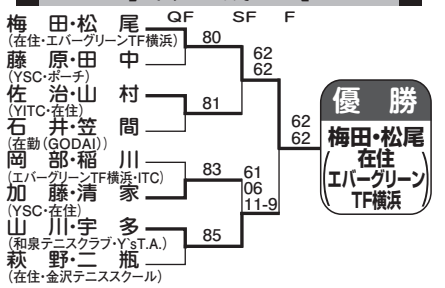
［一般女子］



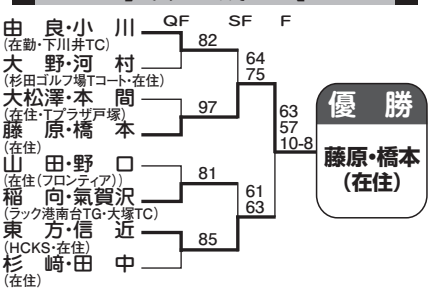
［女子40歳以上］



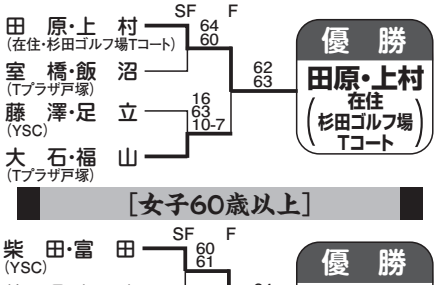
［女子45歳以上］



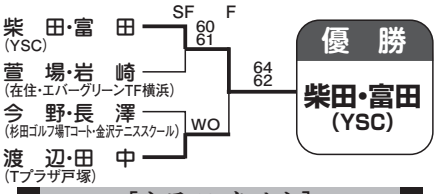
［女子50歳以上］



［女子55歳以上］



［女子60歳以上］



［女子65歳以上］

	中野 高須賀	畠山 木村	原 昼間	勝敗	順位
中 野・高須賀 (YSC・横浜ガーデンTC)		× 58	○ 84	1勝 1敗	2
畠 山・木 村 (ユニークス本牧・在住)	○ 85		○ 80	2勝 0敗	1
原 ・ 昼 間 (大塚TC・ラック港南台TG)	× 48	× 08		0勝 2敗	3

第42回 全日本都市対抗テニス大会（茨城大会）

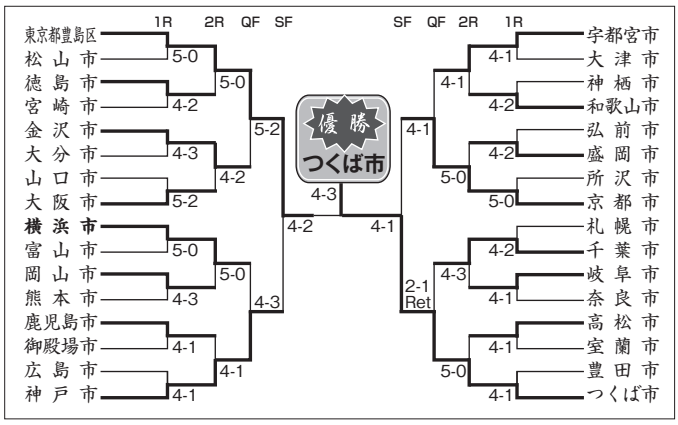
7月26日～29日で行われた、第42回全日本都市対抗テニス大会に出場致しました。今年は茨城県神栖市の神栖海浜庭球場というその名の通り、鹿島の海岸がすぐ近くにありコートから風の便りで波の音が聞こえるような涼しげな環境でした。

［出場選手等］
- ●監 督／岡崎 崇徳(リコー)
- ●マネージャー／石崎 勇太(GODAI)
- ●一般男子／喜多 文明(リコー)、只木 伸彰(リコー)、喜多 元明(リコー)
- ●一般女子／水沼 茉子(リコー)、入江 真子(リコー)
- ●ベテラン女子／梅田 真由美 (リーファTG)、松尾 あゆみ (瀬谷グリーンTC)
- ●ベテラン男子1／玉那覇 太(あざみ野ローンTC)、森田 誠一郎 (あざみ野ローンTC)
- ●ベテラン男子2／清板 伸一郎(ヨコハマクラブ)、橋爪 宏幸(フロンティア)

この大会は毎年、国体のリハーサル大会として位置付けられており、神栖市、茨城県テニス協会の皆様、大会運営の方々も来年の国体開催を視野に入れながら、出場都市は32都市。全力で大会を運営頂きました。

運が悪く、大会期間中に台風が関東に上陸。試合中にゲリラ豪雨に会い、試合開催も危ぶまれましたが、無事に再開することが出来ました。強風と雨が繰り返しの最中、横浜市は3回戦にて神戸市に惜敗し、ベスト8と悔しい結果になりましたが、代表選手の皆様は暑い中、素晴らしい戦いを見せてくれました。大変お疲れ様でした。

優勝はつくば市!（初優勝!）シングルス、ダブルスともバランスのとれた素晴らしいチームでした。おめでとうございます!（石崎）



第50回 横浜市団体テニストーナメント

――猛暑の中の団体テニストーナメントを終えて――

夏の訪れを告げる第50回 団体テニストーナメントが95チームのエントリーで開催され8月4日の最終日で全日程を無事終了する事ができました。選手の皆さん、応援の皆さん、そして大会運営に御協力いただいた選手、理事の皆さん、大変お疲れ様でした。

期間中は猛暑に見舞われ、各チームとも鎬を削る戦いがあったと思います。一般の部では、男子上位シードが順当に勝ち上がって総合力で3年連続優勝のとつかTC（ARASHI)チーム、女子は上位シードを倒してNaturally TENNIS 2チームが決勝戦（未実施）に進みました。

シニアの部では男子第1シードの亀の甲山TC（A）チームが不動の優勝、女子はTプラザ戸塚（ギリギリシスターズ）チームがYSC（ひまわり）にギリギリのところで初優勝し大会の幕を閉じて頂きました。この大会の特徴はクラブ・実業団・同好会との対戦が出来ます。

また、社会人だけではなくジュニアからベテランまで横浜市テニス協会加盟団体からの参加を強く希望します。最後に、本大会に直接携わって頂いた役員、運営委員の皆様のご苦労に対し心から感謝致して大会後記とさせていただきます。

今後も横浜市のテニスの技術向上と皆さんが気持ち良くテニスを楽しんでプレーできる環境を一緒に築きましょう。

（横浜市団体トーナメント委員長　関　宏一）

一般男子の部優勝　抜群のチームワークで3連覇

とつかTC（ARASHI）

毎年楽しみにしている団体戦。うちのチームの良いところは、何と言ってもチームワークです。試合に出ない人も日程調整をしてくれて、試合当日に参加してもらえるメンバーに毎回感謝しています。その結果が今回の優勝に結び付いたと思っています。

初参加から20年近くが経ち、以前とは違う状況での3連覇!! こんな素晴らしいメンバーと試合に参加でき、最高の結果を残せたことを誇りに思います。いつも私たちを応援していただいているクラブオーナー、またメンバーの皆様、本当にありがとうございます。最後に素晴らしい大会の運営にご尽力されている協会関係者の皆様に感謝申し上げます

一般女子の部優勝　三年目の挑戦で悲願の優勝

Naturally Tennis

昨年一昨年となかなか勝てませんでしたが、今年は昨年までの教訓を活かししっかりと全日程メンバーを揃えて臨み全員で優勝を勝ち取ることが出来ました。決勝の同士対決は不戦勝となりましたが優勝、準優勝ということでnaturally tennisとしては最高の結果となりました。来年度も優勝目指して練習に励みたいと思います。有難うございました。（川角）

シニア男子の部優勝　5年連覇

亀の甲山TC（A）

最初に暑い中、試合進行ありがとうございました。今回は五連覇が、かかっていたので皆、緊張していました。だんだんレベルが上がって来ているので、今回は優勝は無理かなと思っていました。けれど、試合が進むにつれ、団結力がたかまっていき、決勝では最高の結果を出す事が出来ました。来年も良い結果を出せるように皆でがんばります。ありがとうございました。（福田）

シニア女子の部優勝　チームワークと応援の力で初優勝！

Tプラザ戸塚（ギリギリシスターズ）

まず初めに、今大会に携わった協会役員及び関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。ギリギリシスターズは、その名の通り、7名というギリギリのメンバーで今大会に挑みました。

昨年は準優勝まで行き、今年は優勝!と目標を掲げて皆で練習してきました。初戦、準決勝と厳しい相手に勝ち抜き、決勝戦は1－1で最終ペア次第で勝敗が決まることに。手に汗握る試合をタイブレークで勝ち、ついに初優勝! 皆最高の笑顔とうれし泣きでそれを祝いました。

メンバー全員が故障を抱えながら、それでも優勝できたのは、メンバーの強い気持ちとチームワーク、そしてなにより応援の力よるものだと確信してます。猛暑の中、常に温かい声援を送ってくれたプラザの会員の方々、心から感謝しております。

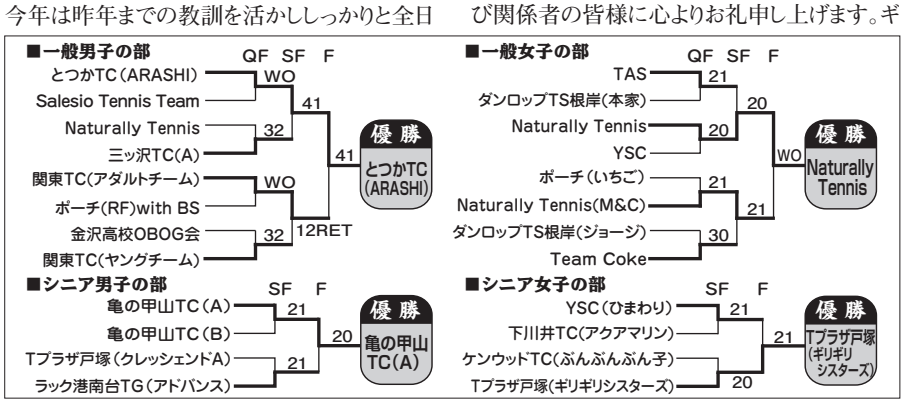
メンバーの皆さん、たくさんの感動をありがとう! ギリギリシスターズはサイコーのチームです。来年は、シニア男子チームとアベック優勝目指して頑張りましょう!（飯沼）

［一般男子の部準優勝］
関東TC（アダルトチーム）

［シニア男子の部準優勝］
ラック港南台TG（アドバンス）

［シニア女子の部準優勝］
YSC（ひまわり）

※［一般女子の部準優勝］Naturally Tennis（M&C）
決勝戦欠場のため写真無し



第11回 横浜親子ダブルストーナメント

――親子で酷暑もなんのその――

8月5日(日)、8月12(日)の2日間で、小学生3年生以下から高校生以下までの10種目(120組参加)を、初日は本牧市民公園(小学生以下)と清水ヶ丘公園(中学生・高校生)、決勝大会は長浜公園で、天候にも恵まれ全種目を予定通り終了することが出来ました。

今回も協賛会社様から提供していただいた賞品での恒例の抽選会もあり、ペアテニス宿泊券(4組)やテニスグッズが当たり盛り上がりました。午前と午後のテニスレッスンにも、50名以上の方が参加しました。酷暑もなんのその、試合のコート上から親子の元気な掛け声と励ましの声が、コートサイドからは家族の声援がひびいて、真夏の暑さに負けない試合が見られました。

横浜開港150周年を機にスタートしたこの大会は11年目にはいりましたが、恒例行事として家族ぐるみで楽しみに、夏休みの思い出作りにと、参加していただいている親子ペアが、たくさんいらっしゃるので、今後も、参加して楽しい大会としてマナーと安全も今まで以上に重視し、継続していきます。夏の思い出に参加しようかなと考えられた方、ぜひ来年はもっとたくさん参加していただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

(親子ダブルス委員長　大村)

[小学3年生以下父親の部　優勝]

プライスレスな大会に感謝

林 直樹・林 優成(橘Tアカデミー)

今回は三年生以下の部で最後だったので優勝できて良かったです。来年は、六年生以下の部で出て、優勝したいと思っています。(優成)

まず始めに、大会を運営して頂いた皆様に感謝いたします。この様な機会を与えて頂き誠に有り難うございました。昨年は残念ながら二回戦で負けてしまい、「今年は、優勝しようね。」と息子と練習しました。息子の成長も感じる事が出来、最高の結果で終える事が出来て本当に嬉しくプライスレスな思い出になりました。私も父と沢山テニスをし試合にも出場致しました。大会を通して親子の絆が深まった方々も多くいらしたのではないでしょうか。これからも身体が動く限りテニスを続けていきたいと思います。そして又、来年新たに六年生以下の部でチャレンジしたいと思います。(直樹)

[小学3年生以下父親] 林親子、赤崎親子の各選手

[小学3年生以下母親の部　優勝]

初めての親子ダブルス

宮本 千晶・翔太(在住・YA&AC)

本大会を知った昨年末、「親子大会というのがあるみたいだけど、パパかママかどちらかと組んで出たい?」と息子に聞いたところ「ママと出たい!」と。この一言で初めて母子でペアを組み、出場させて頂きました。(パパ、どんまい by 夫)

「せっかく出るんだから楽しもう! ミスした時はお互いにドンマイと声を掛け合おう」を目標に、緊張しながらも楽しい時間となりました。猛暑の中、大会を運営し盛り上げて下さった横浜市テニス協会・関係者の皆様に心より感謝申し上げます。(千晶)

お母さんと一緒にダブルスを組んで優勝出来たこと、それから、試合前の抽選会で帽子が当たったことが嬉しかったです。これからも沢山練習して上手になりたいです。(翔太)

[小学3年生以下母親] 宮本親子、鈴木親子の各選手

[小学6年生以下父親の部　優勝]

強い気持ちで頑張りました!

坂野 仁清・生奈(在住・レニックスTS)

はじめに大会関係者の皆様には、素晴らしい大会を開催して頂きありがとうございます。

4年生、5年生のときは母親の部で出場しましたが、負けてしまい、6年生の今年は絶対に優勝したいと思い望みました。今回は父親の部で、母親の部とは違って相手のお父さんのボールが強くて大変だったけど、絶対勝つという思いで頑張りました。優勝できてとても嬉しいです。私はテニスが大好きなので、これからも多くの大会で優勝できるように頑張っていきます。(生奈)

[小学6年生以下父親] 坂野親子、伊藤親子の各選手

[小学6年生以下母親の部　優勝]

まぼろしのペアルック

長井 久仁子・長井佑真(加盟団体・レニックスTS)

今年で2回目の親子ダブルス、女の子とママの可愛いお揃いのウェアが羨ましくて、ウェアの色くらいは揃えようと息子を渋々納得させ、いざ会場に向かいました。ところが息子はウェアを一式忘れて来たではありませんか。部屋着ではエントリーできるわけもなく困った末、たまたまパパが着ていたウェアと交換し試合に挑む事にしました。一方のパパは息子のパッツパツのTシャツを着て応援するはめになりましたが…。

こんなハプニングもありましたが息子の頑張りにより何とか優勝することができました。優賞の興奮のあまり、トロフィーを会場ベンチに忘れて慌てて取りに戻るというオチもあり、大変思い出深い大会となりました。最後になりましたが、大会関係者の皆様本当にありがとうございました。(久仁子)

[小学6年生以下母親] 長井親子、高村親子の各選手

[中学生以下父親の部　優勝]

父の言葉に励まされ初優勝

免出 長久・陽(在住・市立桂台中学校)

今年、父と組んで初めて優勝しました。準決勝の時は最初、調子が悪くてポイントを相手にあげてしまいましたが、父のフォローがあったおかげで何とか勝つことが出来ました。

また決勝では、デュースが多かったです。4-4の時、相手サーブでサーバーの時がありました。緊張で地面から足が離れませんでした。そしてレシーバーの時でも「一ポイント、リードしているから大丈夫!」と思いミスをしてしまいました。その時、父が「いつも通り振ればいいよ。」と言ってくれました。そのお陰でゲームを取ることができました。

最後の最後まで父に助けられました。お父さん、ありがとう。最後に大会関係者の皆様、いつもレッスンをしてくださったラック港南台の皆様ありがとうございました。(陽)

[中学生以下父親] 免出親子、木村親子の各選手

[中学生以下母親の部　優勝]

2回目の参加で頂点に

金本 純子・夢菜(GODAI港北)

娘との親子ダブルスは2回目の挑戦でしたが、昨年より格段に成長した娘を見ることができ大変嬉しく思います。また、励ましあいながら初優勝でき、大変よい思い出となりました。これからも家族でテニスをエンジョイしていきたいと思います。最後になりましたが、このような素晴らしい大会を運営してくださった大会関係者の皆様、心より御礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(純子・夢菜)

[中学生以下母親] 金本親子、免出本親子の各選手

[中学生以下混合の部　優勝]

猛暑の中、同学校対決を制す

荒井 一朗・晴(在住)

大会関係者の皆様、猛暑に中、大変ありがと

うございました。今回で4年連続の出場となりますが、今までの大会では、決勝にも進むことはできませんでした。決勝の相手は、同じ中学で普段は味方として戦っている横田さん。変な緊張感と暑さでミスが早くなる場面もありましたが、なんとか優勝することができてよかったです。これからもテニスを楽しんでいきたいと思います。ありがとうございました。（晴）

横浜市テニス協会の皆様、対戦相手の方々、暑い中、ありがとうございました。長年、テニスはしていますが、優勝する機会はあまりないことですので、とても貴重な経験、良い思い出となりました。（一朗）

［中学生以下混合］荒井親子、横田親子の各選手

［高校生以下男子の部　優勝］

高校生活最後の夏の良き思い出に

松本 康樹・大貴（BLACKSOX・慶応湘南藤沢高等部）

はじめに、素晴らしい環境の中で楽しくテニスをさせていただき、大会関係者の皆様に感謝いたします。昨年は部活動の合宿と重なってしまい、最後まで出場できずとても心残りの大会でした。今年は部活動を引退し、親子ダブルスに出場できる最後のチャンスでしたので、優勝することができホッとしています。

父は46歳にもかかわらず、昨年は一般の部で優勝していたので、負けたら私の力不足…と思われてしまいそうで、少しプレッシャーがありました。慣れないバックサイドや練習不足によるミスもありましたが、サーブの調子が良く、勝負どころでは前で父がしっかり決めてくれたので助かりました。高校生活最後の夏の良い思い出になりました。（大貴）

［高校生以下父親］松本親子、堀池親子の各選手

［高校生以下女子の部　優勝］

母との連携不安もプレー中の会話で解消

秋吉 真須美・美夜（在住）

はじめに、大会を運営して下さった横浜市テニス協会の皆様にお礼申し上げます。

高校生になって部活動が忙しくなり、母との練習がなかなか出来ず不安でした。本番では、ポイント毎にしっかり話し合いながらプレーをしました。結果につなげることができ、良かったです。（美夜）

［高校生以下女子］秋吉親子、東親子の各選手

●小学3年以下父親●

SF　F

- 林直樹・優成（橘Tアカデミー）　SF 62
- 鹿谷征生・亮斗（在住）
- 広重隆司・瑠璃子（在住）　SF 61
- 赤崎智彦・世待（在住）

F 62

★優　勝★ 林直樹・優成（橘Tアカデミー）

●小学6年以下父親●

SF　F

- 坂野仁清・生奈（在住・レニックスTS）　SF 62
- 日垣圭介・陸（在住・橘Tアカデミー）
- 小林幸平・明琉（在住・橘Tアカデミー）
- 伊藤礼央・啓太（在住）　SF 76(2)

F 61

★優　勝★ 坂野仁清・生奈（在住・レニックスTS）

●中学生以下男子●

SF　F

- 木村宗一郎・謙宗（在住）　SF 63
- 佐藤淳・遙太（在住）
- 免出長久・陽（在住・市立桂台中学校）　SF 62
- 池谷智隆・真斗（サリュートITS）

F 64

★優　勝★ 免出長久・陽（在住・市立桂台中学校）

●中学生以下混合●

SF　F

- 剱物健太郎・若菜（本郷台テニス同好会・ラック港南台TG）
- 荒井一朗・晴（在住）　SF 63
- 横田真人・唯（橘Tアカデミー）　SF 62
- 鈴木智章・るな（ラック港南台TG・在住）

F 63

★優　勝★ 荒井一朗・晴（在住）

●高校生以下女子●

SF　F

- 秋吉真須美・美夜（在住）　SF 75
- 南雲かおり・優希（本郷台テニス同好会・ラック港南台TG）
- 東紫乃・莉央（在住）　SF 64
- 杉浦美央子・萌楓（ラック港南台TG）

F 63

★優　勝★ 秋吉真須美・美夜（在住）

［高校生以下混合の部　優勝］

猛暑の中で熱戦制す

剱物 郁子・蒼太（本郷台テニス同好会・ラック港南台TG）

毎年、家族で親子ダブルスに楽しく参加させて頂いております。今年も猛暑の中、大会運営を行って頂き大変ありがとうございました。息子と出場したのは5年ぶりになります。

小学校5年生の時、山手公園で負けた試合が忘れられません。あの時も、今年一番の猛暑日で、蒸し暑くコートの上の気温は37度ぐらいあったと思います。0−3でリードしていましたが、私が熱中症になり吐きそうになりながらゲームを行い結局3−6で負けてしまいました。それからは、毎年念入りに熱中症対策をして試合に望みました。暑い日も長時間テニスをして、自分の体力をつけて準備してきました。そのおかげか、今年は体力も問題なく楽しくゲームをすることが出来ました。息子の力が大きいと思いますが、今回優勝出来て大変嬉しいです。

来年も、子供達の日程が許す限り参加したいと思います。ありがとうございました。（郁子）

［高校生以下混合］剱物親子、濱田親子の各選手

●小学3年以下母親●

F

- 宮本千晶・翔太（在住・YA&AC）
- 鈴木恵美・理仁（在住・杉田ゴルフ場Tコート）

F 60

★優　勝★ 宮本千晶・翔太（在住・YA&AC）

●小学6年以下母親●

SF　F

- 長井久仁子・佑真（加盟団体・レニックスTS）　SF 75
- 新井桂子・優月（在住・ラック港南台TG）
- 高村祐理子・颯（在勤・在住）　SF WO
- パウリ由紀子・レオン（在住）

F 62

★優　勝★ 長井久仁子・佑真（加盟団体・レニックスTS）

●中学生以下女子●

	金本親子	渡邉親子	免出親子	勝敗	順位
金本純子・夢菜（GODAI港北）		○ 61	○ 61	2勝0敗	1
渡邉ひろみ・早苗（在住・笹下中学校）	× 16		× 16	0勝2敗	3
免出涼子・暖（在住・市立桂台中学校）	× 16	○ 61		1勝1敗	2

●高校生以下男子●

SF　F

- 堀池正之・哲平（在住）　SF 60
- 宮上信之・純（ケンウッドTC）
- 森田光秋・大貴（在住）　SF WO
- 松本康樹・大貴（BLACKSOX・慶応湘南藤沢高等部）

F 63

★優　勝★ 松本康樹・大貴（BLACKSOX 慶応湘南藤沢高等部）

●高校生以下混合●

	剱物親子	吉田親子	濱田親子	関沢親子	勝敗	順位
剱物郁子・蒼太（本郷台テニス同好会・ラック港南台TG）		○ 62	○ 63	○ 63	3勝0敗	1
吉田明弘・有里（在住）	× 26		× 67(5)	○ 61	1勝2敗	3
濱田智恵子・瞬汰（在住）	× 36	○ 76(5)		○ 75	2勝1敗	2
関沢峰代・怜介（在住・浅野高校）	× 36	× 16	× 57		0勝3敗	4

第41回横浜地区クラブ対抗テニストーナメント

クラブチームが7ダブルス（男子55歳以上、女子45歳以上、男子45歳以上、女子35歳以上、男子35歳以上、女子フリー、男子フリー）で勝敗を決する団体戦で9月1日（土）に三ツ沢公園コートで行われ、横浜スポーツマンクラブ（YSC）が決勝で昨年優勝の横浜ガーデンTCを4−3で破り、優勝しました。

1月に行われる第40回神奈川県クラブ対抗戦に、代表チームが出場し優勝を目指します。

- 横浜ガーデンTC
- BYE
- サンブリッジTC本郷
- YC&AC　61
- あざみ野LTC
- YITC　52
- BYE
- YSC

横浜ガーデンTC 43（準決勝）、YITC 43（準決勝）

決勝 43

優勝 YSC

第15回 都市間交流スポーツ大会（京都大会）

順位／1位 神戸市、**2位 横浜市**、3位 名古屋市、4位 大阪市、5位 京都市

7月14日～15日で行われた、第15回都市間交流スポーツ大会に横浜市代表チームが参加いたしました。この大会は歴史が長く、以前は五大都市と呼ばれており、横浜、名古屋、大阪、京都、神戸の五都市の代表トーナメント戦で今も開催されています。

京都の桂川にある小畑川中央公園テニスコートにて二日間、天候は一度も崩れることなく行われました。天気は最高の青空で、テニス日和となりました!

しかしながら、、、猛暑!? 酷暑! となり、一般・ベテラン選手の皆さんは炎天下の中、コートの中の体感温度は40度を超えてしまいました。観戦しているだけで、汗か止まらなくなる厳しい環境でしたが、選手はチーム一丸となり、声を掛け合いながら、全力を尽くしました。惜しくも、優勝は逃すものの、準優勝と立派な成績を残してくれました。選手の皆様のフェアプレーに感謝! 優勝の神戸市の皆様、おめでとうございます!来年は大阪市で行われます。次は優勝します!! （石崎）

［第15回都市間交流スポーツ大会テニス競技結果］

【本　戦】

	1R	SF	F	
No.1 京都市				
No.2 **横浜市**	②	43		
No.3 名古屋市			⑦	優勝 神戸市
No.4 大阪市	①	43	52	
No.5 神戸市	③	52		

【4位決定戦】
②敗者 京都市
①敗者 大阪市　④　43　第4位 神戸市

【3位決定戦】
②敗者 京都市
③敗者 名古屋市　⑤　43　第3位 名古屋市

参加選手・監督マネージャー

［監　　督］岡崎 崇徳　［マネージャー］石崎 勇太
［一般男子シングルス］佐々木 剛（主将）　［一般男子ダブルス］長岐 祐良、吉澤 悠吾
［一般女子シングルス］本郷 未生　［一般女子ダブルス］内藤 裕子、寺田 康子
［ベテラン男子ダブルス1］玉那覇 太、勝間 豊　［ベテラン男子ダブルス2］橋爪 宏幸、藤井 良成
［ベテラン女子ダブルス］梅田真由美、松尾あゆみ

第24回 ジュニア競技力向上事業テニス合同・強化練習会

ジュニア競技力向上事業テニス合同・強化練習会は、（公財）横浜市体育協会主催で毎年夏休み期間中に実施しています。練習会の運営を行っている横浜市テニス協会も次世代を担うジュニアの育成には、精力的に取り組んでいます。今年度の練習会は、7月22日から8月11日迄の間で合計5日間（1日台風による降雨で中止）実施し、小学生から高校生まで計57名（延べ220名）の選手に参加していただきました。コーチには、元デ杯選手の田辺正特別コーチを筆頭に、リコー実業団チームの現役選手やテニスクラブコーチ等、横浜市トップクラスの方にご協力いただきました。参加したジュニアの皆さんは、何かを学んで帰ろうと今夏の記録的な暑さの中で、集中して一生懸命ボールを追いかけていました。この練習会の経験を今後の試合や技術力の向上に活かしていただければ幸いです。練習会に参加した選手の感想文を掲載しますが、本人はもとより保護者の皆様にも感謝のお言葉をいただき大変うれしく思いました。

参加いただいた選手の皆さん、暑い中大変お疲れ様でした。また、お忙しいところ選手の指導にあたっていただいたコーチの皆様、本当にありがとうございました。来年もバージョンアップした練習会を実施していきたいと思いますので、ご期待ください！

［参加の感想］

私は今回、初めて強化練習会に参加しました。どんなことをするのかワクワクしていました。6日間の強化練習会で、ボレー、ショット、サーブ、スマッシュ、リターンなど色々なことを教わりました。スマッシュはボールの上からラケットをかぶせて打つ、前で打つということを教えてもらいました。実際に意識して打ってみると、難しかったです。リターンでは、構え方や足の動かし方、踏み込んで打つこと、そしてリズムが大切と教えてもらいました。

今回の強化練習会で、私はボレーについて、たくさんの事を学びました。手首の形をLの字にして打つことボレーは振るのでは無く、打ちたい所に面を向けて押すということ、面のどこにボールを当てるかなど自分のためになることを本当にたくさん学びました。最後にどこのペアが一番長くボレーボレーが続くか勝負をして、いつもは相手がとりやすいボールを打つことができなかったけど、この時はペアの人と協力して長く続けることができました。

今回の新人戦では私はシングルスもダブルスも本戦に行くことはできませんでした。でも、矢向中のメンバーで本戦に行けた人は何人かいました。強化練習会で学んだことは私やみんなのためになりました。たくさんのことを教えていただきありがとうございました。

（中学2年生女子参加選手）

良い経験ができた。それに尽きます。この練習会をインターネットで見つけたとき、練習会の内容が良く分からず、とりあえず参加したいという気持ちでした。しかし、実際に練習に参加し、とても驚きました。それは内容でした。どんなメンバーかどのようなコーチかも分からないまま、練習場所のコートに向かいました。行ってみると、全てのコートに2名以上のコーチが配置されていました。その多くが現役実業団や指導者の方々でした。この環境の中で練習ができると分かり、大変わくわくしたのを覚えています。

どの日もとても暑い中での練習でしたが、その暑さを吹き飛ばすほどの熱気がありました。体育会系でテニスを続けてこられた方が多く、熱の入った指導をしていただけました。練習では多くのアドバイスをいただきました。あまり自信のなかったショットも、的確なアドバイスをしていただき、自信をもってラケットが振れるようになりました。

また、実業団の方がラリーやゲームの相手をして下さったので、実践的な練習が多くできて良かったです。このような機会を与えていただいたことに感謝しています。予想以上に密度の高い練習ができたので、次の機会にも是非参加したいと考えています。

最後に協会や指導者の方、練習会を開催していただきありがとうございました。

（高校2年生男子参加選手）

第66回 横浜市実業団対抗テニス

男子優勝：千代田化工（初）、女子優勝：資生堂研究所（4度目）

3月から7月にかけての第66回横浜市実業団対抗テニス1部リーグにおいて、男子の千代田化工が初、女子の資生堂研究所が4度目の優勝を果たしました。

5月に行われた第84回神奈川県実業団対抗テニス大会（B大会）に横浜から男女8チームが出場しましたが、男子の東芝京浜がBEST4のみにとどまり、次回の活躍を期待します。

神奈川県A大会の第60回（女子第22回）神奈川県実業団対抗テニスリーグ戦においては、男子:横浜市役所Aが1位、女子:ウインザーAが2位、ウインザーBが3位、の成績でした。

第67回横浜市実業団対抗テニスは8月末から12月まで74チームが上位を目指し熱く闘っています。

【第66回横浜市実業団対抗テニス大会の成績】

（各部の優勝チームのみ記載）

●H30年3月～7月　参加75チーム（男65＋女10）
●H30年度運営事務局：日揮

《男子優勝(部別)》	3B：富士通エレクトロニクス
1部：千代田化工A	4A：野村総合株式会社
2A：ブリヂストンB	4B：野村総合研究所B
2B：横浜市役所I	5A－C：レノボTC
3A：三菱ケミカル横浜研B	5D－G：NECソリューションイノベータC

《女子優勝(部別)》	2部：日立戸塚
1部：資生堂研究所	

★大会の結果については協会ホームページに詳しく掲示されています。

第12回 春のシニアテニス教室

春のシニアテニス教室を（第12回）4月10日（火）から6月12日（火）富岡西公園、長浜公園コートの2箇所にて実施いたしました。

59名の受講者でのスタートとなりましたが申し込み後4名辞退で55名となりました。雨で1回中止になったことで、最終が富岡西となったので、急遽懇親会を実施しました

昨年、生徒さんから初参加時の懇親会でテニス仲間を紹介してもらったことで、今もテニスを続けているので懇親会が無いと残念ですとの意見があり。実施できてよかったと思います。

今回、長年担当してこられた2名のコーチがどうしても都合がつかず、担当コートの変更、毎回変わるコートへのボールの運搬等コーチの皆様の協力をいただきました。この教室が無事終了出来ましたのもコーチの皆様のおかげと感謝しております。

（飛田）

クラブ紹介 《第66回》 プロフェッショナルテニススクール

「プロフェッショナルテニススクール」はブルーライン立場駅に近く立場テニスコートのオーナー様のご協力で1997年3月札幌から神奈川県に進出したスクールです。おかげさまで、21年を迎える事ができました。立場ゴルフ内のハードコート9面の施設内の2面で運営しています。このコートは、足にとてもやさしいゴムチップコートで足、膝、腰に負担なくプレーができて夏のコート温度も上がらず、体感温度がハードコートと比べると涼しいくらいです。

一般の方々には、「明るく、楽しく、ちょっとハード」をモットーにお一人、お一人お声がけをして小さな成長を笑顔で感じて頂いています。

生徒さんの一言（男性）：「70歳を過ぎても仕事、テニスが出来て、健康でいられて、テニス仲間もいるのは、いいもんですな。」

Jrクラスでは、3歳から小、中、高のそれぞれのクラス設定があり、皆さん楽しまれています。Jr選手クラスの子供たちは、毎日高い目標には向かって頑張ってます。体験レッスンを随時行っております。元気で明るいスタッフが、みなさんをお待ちしております。

どうぞお気軽に遊びにいらして下さい。

横浜市泉区中田西1-16-7立場ゴルフ・テニスコート内　TEL 045-803-1625

好評連載　テニスプレーヤーのためのスポーツ医学　66

“スポーツとアルコール”

日本スポーツ協会公認スポーツドクター　医学博士　及能茂道（きゅうのうしげみち）

健康のためにテニスを始めたものの、プレー後のビールが美味しくて酒量が増え、かえって肥ってしまったという話を聞いたことがあります。ゲーム後の口渇をいやすためのビールでアルコールの味を覚え、ビールを楽しみにテニスを続けているという女性もいます。毎年夏の団体トーナメントに参加している仲間たちが、勝っても負けても打ち上げ後の飲み会がテニスよりも楽しくて毎年参加し続けているチームもあるようです。

ゴルフはスコットランドで発祥しただけあってウィスキーとのまつわりが多く、極寒の草原では体を温めるためにウィスキーを飲みながらラウンドし、飲み終えて空になった所で18ホールが決まったと伝えられています。またラウンド後にクラブハウスや家庭でお互いの健闘を讃えあってパーティーを19番ホールと称した伝統があります。

テニスでは1928年来日したフランスの世界No.1の名手A.コーシェが原田武一選手との親善試合で、余裕綽々と悠然とウィスキーグラスを軽く傾けながら対戦していたと語り継がれています。

酒は百薬の長か？万病のもとか？

酒飲みが聞けば涙を流して喜びそうなこの言葉は、中国の新の大酒のみの皇帝が、人民の楽しみにかこつけて酒に高税率をかけて税金を取りまくるためにこの名句を吹聴しまくったそうです。鎌倉時代末の学者の吉田兼好は酒好きで、徒然草のなかで「万病は酒からおこるのか」と自ら戒めています。

百薬の長か？万病のもとか？について、数十年前米国で行ったアルコール摂取量と罹病率の関係の大規模調査の結果は、少量のアルコールを毎日飲んでいる人のほうが、まったく飲まない人や多量飲酒者より病気が少ないという、まさに「酒は百薬の長」ともいえる愛飲家にはうれしい結果がでていますが、ただ少量とは1日あたりアルコール8g（清酒60ml、ビール半本、ウィスキーシングル一杯）という酒好きにとっては雀の涙ほどの条件がついています。

日本人の大部分はアルコールに弱い

アルコールは胃から約20%、小腸から約80%吸収されて肝臓へ行き、そこで分解されて毒性の強いアセトアルデヒトになります。このアセトアルデヒトが速やかに分解されて酢酸になれば悪酔いはしませんが、アセトアルデヒトが留まっていると顔面が紅潮し、頭痛、吐き気など悪酔いをおこします。

日本人の半数はアルデヒトを分解する酵素が弱く、少量のアルコールでも顔が紅くなり、この酵素が強力な西欧人のようには多量に飲めません。

アルコールはまず胃袋に浸みわたり、少量なら気分爽快、至福をもたらしますが、量が増えると刺激に対する反応が鈍り、饒舌になったり、動作は円滑を欠き、機敏性でなくなり、集中力がなくなります。人や量によって、飲むほどに気持ちが昂ったり、落ちこんだり、ふらついたり、足元がよろけたり、酔うほどに思考や記憶が低下し、酩酊して正体をなくすこともあります。

アルコールは生活習慣病のもと

多量のアルコールを飲み過ぎると肝臓にアセトアルデヒトの毒性が残り、肝臓機能が低下して、脂肪肝やアルコール性肝炎や肝線維症となり、さらに肝硬変の危険に及ぶのは良く知られています。飲み過ぎると殆どの人に肝機能検査の一つであるγ－GTPの上昇がみられますので、健康診断では酒飲みは注目して節酒の目安にします。長年習慣的にアルコールを飲み続けると、γ－GTPが正常だからといって安心できず、高血圧や糖尿病といった生活習慣病を招きやすい。

アルコールは食道、胃，腸を直接刺激し、血液に入って全身を巡りますので、肝臓のほか脳、心臓、血管、骨など全身の臓器が障害を受けます。睡眠の質を悪化させ、うつ病を引き起こす原因となります。老化も早め、脳細胞の減少を速め、脳萎縮がおこり、ボケやすくなるのは言うまでもありません。がんの発生も多く、特に致死率の高いすい臓がんは多量飲酒と関連が深いとされています。

誰もが無縁ではないアルコール依存症

多量飲酒をする人は自分の飲酒行動に疑問を抱くのは難しいものです。酒にだらしない人よりも真面目で不器用な人が、高いストレスを抱えた時に酒の力を借りてその場しのぎの発散を続けていると酒なしでいられなくなってしまい、依存症になることが多いようです。家庭が破たんしたり、社会的信用を失うまでもなく、前夜の行動が思い出せない、飲酒後罪悪感や自責の念にかられる、酒の上で誰かに怪我を与えた、親や友人に飲酒について心配や注意をされたら、アルコール依存症の可能性があるかもしれません。

アルコールはスポーツに役立たない

アルコールは1g7カロリーのエネルギーを生成しますが、蛋白質合成を阻害し、身体の成分にはならず、食品のような栄養にはなりません。成長ホルモンや男性ホルモンを減少させるため、筋肉づくりを妨げ、運動後の筋肉の回復を遅らせます。利尿作用もあるため脱水症状を起こし、電解質バランスを崩して筋肉痙攣や熱中症発生の危険性が高まります。

アルコールが入ると反応が鈍り、集中力や機敏性がなくなり、動作の円滑性が損なわれますので、プレーのパフォーマンスの低下は明らかです。射撃などの競技では、アルコールはドーピング禁止物質として検査対象でしたが、アルコールは競技力を向上させるものではないとされて、今年から禁止物質から除外されました。

どんな競技種目の選手も試合後の夕食時に嗜好品として飲酒することは日常ですが、翌日の試合を控えている場合には自重することでしょう。軽いアルコール摂取は翌日のパフォーマンス低下させないものの、人や量によっては眠気や疲労度に影響を与えます。激しい試合後は食欲も低下しますので、食欲増進や気分転換の意味で飲酒も薦められますが、アルコールは疲労回復物質にはなりません。赤ワインは抗酸化物質のポリフェノールがたっぷりという理由でスポーツマンに人気ですが、ポリフェノールはもともと植物に豊富ですのでお茶やコーヒーで充分でしょう。プロテニスプレーヤーの多くはトーナメント中は禁酒・節酒を心がけ、大会終了後のアルコール解禁を楽しみにしています。

健康的なアルコールの飲み方

昔から「酒と○は2ゴウまで」と戒められていますが、アルコール分解酵素が少ない日本人男性は1日平均のアルコール量は20gまで、清酒なら1合、ビールなら500mlまでが適度と言われています。この適量は人によって異なり、一般的には女性や高齢者は体重が少なく、肝臓が小さいので適量は少なくなります。この節度のある量でも毎日長年続けていると万病のもとになるのをお忘れなく！

酒量の多い人は、肝臓の負担を軽くするために週に何日かアルコールを控えることが必要です。胃のなかに食べ物があるとアルコールの吸収は遅くなり，酔い方もマイルドになり、また胃壁の保護にもつながります。肝臓のアルコール代謝機能はタンパク質の摂取量によって左右され、タンパク質に富んだ食生活をしているほうが血中からアルコールが消失する速度がはるかには速いことが知られています。逆に高脂肪食は低脂肪食に比べて血中アルコールが停滞しやすくなります。アルコールの代謝を高めて肝臓の負担を軽くするためには、日頃から高たんぱく低脂肪食を心がけることですが、特にスポーツマンは炭水化物を念頭に置いてバランスのよい食生活が大事です。

体内に入ったアルコールの消失速度は1時間に約7gですので、清酒1合ないしビール500ml飲んだ時には血中からアルコールがなくなるには3時間かかることを知っておくことも必要です。アルコールを分解させるには何よりも水分が必要ですので、飲酒の時には水も沢山飲みましょう。

アルコールは万人の嗜好品であり、酒好きにとってはアルコールなしの生活は考えられないでしょうが、健康とテニス人生のために上手に付き合っていくことを願っています。

中学生新入部員講習会

今年の中学生講習会は新横浜公園コートに於いて、5月27日（日）10面、6月3日（日）5面を使って2週連続開催しました。第1回は1・2年生を対象に、2回目は今年入部の1年生のみの参加です。神奈川県公認、横浜市市民教室の指導員の方々のご協力を頂き、午前、午後共に3時間のレッスンになりました。普段校庭グランドで練習をしている生徒さんたちからは、正式コートでの練習に沢山の笑顔が見られました。半日とはいえテニスの楽しさを満喫し、多くのことを学んで頂けたことと思います。

また、7月8日（日）には、中学合同講習会として、参加各校の男女チーム5～7名による団体リーグ戦を行いました。

今後もテニスの普及活動の1つとして、中学生を対象とした講習会を継続していきたいと思います。

（普及指導部会　熊谷・竹田）

新横浜テニススクール好評開催中

（公財）横浜市体育協会主催のテニス教室が、新横浜テニスコートで実施されています。コートはＵＳオープンで使用されているものと同じサーフェスのデコターフです。優秀なコーチ陣のレッスンを受けてみませんか。

【実施概要】
- ○開催日：毎週水・金
- ○レッスン１：9:20～10:50
- ○レッスン２：11:10～12:40
- ○クラス：初級、中級
- ○コーチ：横浜市テニス協会推薦コーチ
- ○受講料：１期14,400円（8週）

★詳細は協会ホームページ（http://yokohama-ta.la.coocan.jp/）をご覧ください。

【問合せ先】横浜市テニス協会
TEL.663-0557　FAX.663-0558

協会インフォメーション

ホームページのご案内

★テニスに関する各種の情報を始め、大会の実施案内や日程等をお知らせするためのホームページを開設しています。掲載内容も、今後とも徐々に充実させていきたいと思います。**http://yokohama-ta.la.coocan.jp/**

平成30年度上期新規加盟団体紹介（6団体）

1 PFU横浜本社　2 トップインドアステージ横浜　3 MSS橘テニスアカデミー
4 金沢高校OBOG会　5 ノアインドアステージ東戸塚　6 てにんちゅ

退会クラブ（2団体）／横浜市教員クラブ、PULS ONE

横浜市テニス協会加盟団体内訳（2018年9月15日現在）

営業クラブ（スクール含む）	66団体
実業団	48団体
同好会	40団体
その他	4団体
合　計	158団体